

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

高等教育活性化シリーズ 124(通算 390 回)

2008 年 7 月 26 日(土)

激動期の理事長・学長の責務

大学・短大の改組・増設の教学構築

高等教育活性化シリーズ 125(通算 392 回)

2008 年 7 月 30 日(水)

アウトカム(到達目標)の策定と評価

学士課程教育のコンセプトと教学運営

激動期の理事長・学長の責務

大学・短大の改組・増設の教学構築

～ 近年の設置認可・届出制度の本旨・活用と留意点 ～

- ※ 認可・届出制度の本旨／問題点と今後／経営環境の悪化／改革事例としての目白大学
- ※ [五島育英会]「東京都市大学」への進化・発展～武蔵工大と東横学園女子短大の統合
- ※ [平安女学院]“衆議独裁”によるV字再生／組織・財政改革／内部統制と教育改革

● 講師陣 ●

- | | | |
|---------|---|--|
| 佐藤 弘毅 氏 | ／ | 目白大学理事長・学長
大学設置・学校法人審議会(大学設置分科会)委員 |
| 海老原大樹 氏 | ／ | (学)五島育英会理事 東横学園女子短期大学学長
武蔵工業大学新学部開設準備室長 |
| 山岡景一郎 氏 | ／ | 平安女学院大学理事長・学長 |

2008 年 7 月 26 日(土) 中央大学駿河台記念館 会議室 (東京・お茶の水)

アウトカム(到達目標)の策定と評価

学士課程教育のコンセプトと教学運営

～ 入学から卒業までの学習支援・教育責任の組織力 ～

- ※ 大学評価の国際標準化／継続的教育評価と改善／アウトカム基盤型カリキュラムの構築
- ※ 到達目標の設計／アウトカム評価／教育内容・方法の構造化／学習支援の組織力
- ※ 総合大学における実現への挑戦／制度設計の実際／主専攻プログラム化と実現方略

● 講師陣 ●

- | | | |
|---------|---|---|
| 吉岡 俊正 氏 | ／ | 東京女子医科大学 医学部教授 |
| 濱名 篤 氏 | ／ | 関西国際大学理事長・学長 |
| 濱口 哲 氏 | ／ | 新潟大学副学長 (学務担当)・全学教育機構副機構長・
大学教育開発研究センター長 |

2008 年 7 月 30 日(水) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 124 大学・短大の改組・増設の教学構築
 2008年7月26日(土) 10:00~16:50
 会場 : 中央大学駿河台記念館 会議室 (東京・お茶の水)
 (JR「お茶の水」駅徒歩3分/東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅B1出口 徒歩3分)
 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 TEL 03(3292)3111

日時 : 高等教育活性化シリーズ 125 学士課程教育のコンセプトと教学運営
 2008年7月30日(水) 9:40~16:50
 会場 : 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)
 (東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1番出口より徒歩3分)
 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 TEL 03(3230)2834

参加費 :

	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び収録カセットテープ送付)
高等教育活性化シリーズ 124 大学・短大の改組・増設の教学構築	41,000 円 (消費税込)	42,000 円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 125 学士課程教育のコンセプトと教学運営	40,000 円 (消費税込)	41,000 円(送料、消費税込)

参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。

受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払い・請求後の振込みがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替 : 00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp> E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ

地域科学研究会
 高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2008年 月 日

■ 高等教育活性化シリーズ 124 大学・短大の改組・増設の教学構築

当日参加

メディア参加

■ 高等教育活性化シリーズ 125 学士課程教育のコンセプトと教学運営

当日参加

メディア参加

(□の中に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(現金書留・郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書(要 不要)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ～ 12:00	<p>□ 大学設置認可・届出制度の本旨・運用と留意点 ～理事長・学長の責務／目白大学の15年余の絶えざる挑戦～ 目白大学 佐藤 弘毅</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 設置認可・届出制度の本旨と現況 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「事前規制から事後チェックへ」の潮流 (2) 規制緩和と審査の簡素化 (3) 新設、増設、改組の現況 2. 質保証の観点からみた問題点 <ol style="list-style-type: none"> (1) 規制緩和の光と影 (2) 設置審の憂い (3) 会長コメントの意味するもの (4) アフターケアの重視へ (5) 設置基準の整備、審査ルールの整備 3. 教学改革を支える経営環境の悪化 <ol style="list-style-type: none"> (1) イエローゾーン、レッドゾーン (2) 学校法人運営調査委員会 (3) 無理な改革がもたらす教学・経営の危機 4. 改革事例としての目白大学 <ol style="list-style-type: none"> (1) 目白大学の挑戦 (2) リソースを活かす理事長・学長の責務 (3) 改革路線のバランスシート <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>
13:00 ～ 14:50	<p>□ [五島育英会]「東京都市大学」への進化・発展 ～武蔵工業大学と東横学園女子短期大学の統合シナリオ～ 武蔵工業大学 海老原 大樹</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校法人の現状と問題点 <ol style="list-style-type: none"> (1) 組織～法人、武蔵工業大学、東横学園女子短期大学 (2) 改革の取組み～統合、4大化への流れ (3) 改革組織と経過 2. 校名変更 <ol style="list-style-type: none"> (1) 校名変更の意味～統合と文系学部設置 (2) 委員会組織とステーク・ホルダー (3) 決定プロセス 3. 「東京都市大学」のコンセプト <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学ブランドビジョンの確立 (2) 3キャンパスの連携～カリキュラム、学生関係、管理部門 (3) 学生対応に重点をおいたキャンパス改造 4. 新設文系2学部の設置認可申請 <ol style="list-style-type: none"> (1) 都市生活学部都市生活学科の基本プラン (2) 人間科学部児童学科の基本プラン <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>
15:00 ～ 16:50	<p>□ [平安女学院]“衆議独裁”によるV字再生と学部再編 ～「ミッション宣言」から5年／果敢な改革の中で～ 平安女学院大学 山岡 景一郎</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平安女学院の危機と新生 <ol style="list-style-type: none"> (1) ミッション宣言——新生に向けて (2) 理事会決議～すべての規程・申し合わせ等の凍結 2. 組織と財政の改革 <ol style="list-style-type: none"> (1) 組織のスリム化 <ol style="list-style-type: none"> ① 理事会構成20人から5人へ ② 専任教員25%、非常勤講師75%カットによる精鋭化 ③ 事務組織のフラット化 (2) 人件費・債務のカット <ol style="list-style-type: none"> ① 人件費30%カットと組合交渉 ② 大型債務の切捨交渉 (3) キャンパスの統合と最高裁の法的評価 3. 内部統制と教育改革 <ol style="list-style-type: none"> (1) 革新的内部統制システムの構築 <ol style="list-style-type: none"> ① 理事会の権限強化と教授会の役割 ② 学長・学部長等の人事～選挙から任命制へ ③ ステークホルダー等への対応 (2) 教育改革の実践 <ol style="list-style-type: none"> ① 教育目標～ジェネリック・スキルの強化 ② 学部の増設と再編 ③ カリキュラム改善、新しい教育 ④ 中学・高校の魅力づくり <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>

時間	講義項目
9:40 〃 11:40	<p>□ 継続的教育評価と改善を目指すカリキュラム構築の試み ～教育目標積み上げ型からアウトカム基盤型カリキュラムへ～ 東京女子医科大学 吉岡 俊正</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医科大学評価の国際標準化の動向 2. アウトカムの概念 <ol style="list-style-type: none"> (1) 積み上げ型カリキュラム (2) コンピテンシー基盤型カリキュラム (3) アウトカム基盤型カリキュラム 3. アウトカム基盤型カリキュラムの構築の試み <ol style="list-style-type: none"> (1) 統合カリキュラム (2) 問題基盤型教育 (Problem-based learning) (3) アウトカム策定 (4) アウトカム評価 <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>
12:40 〃 14:40	<p>□ 学士課程教育のコンセプトと教学マネジメント ～アウトカムの策定・評価／教育内容・方法の構造化～ 関西国際大学 濱名 篤</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 到達目標の設計 <ol style="list-style-type: none"> (1) 欧・米・豪の到達目標の設計 (2) “学士力” の内容 (3) どのように到達目標を設定するか 2. アウトカムをどのように評価するのか <ol style="list-style-type: none"> (1) “教育の質” とは (2) PISA 高等教育版 (3) 外部共通テスト (4) ポートフォリオ評価 3. 教育内容・教育方法の構造化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自己点検とタスクフォース型プロジェクト (2) 専門職団体や分野別認証による点検 (3) イクスターナル・エグザミナー制度によるピア・レビュー 4. 組織的で学生の自律をめざす学習支援体制に向けて <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>
14:50 〃 16:50	<p>□ 総合大学における学士課程教育実現のための実験 ～新潟大学の主専攻プログラム化の取り組み～ 新潟大学 濱口 哲</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 背景状況の認識 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生の量的・質的变化 (2) 大学設置基準と学校教育法の改正 (3) 中教審の「学士力」答申 2. 新潟大学における学士課程教育の制度設計 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教員と授業科目の全学共通プラットフォーム化 (2) 副専攻制度の導入 3. 学部教育から主専攻プログラムへ <ol style="list-style-type: none"> (1) 主専攻プログラム化の趣旨 (2) 主専攻プログラム化実現のための方略 4. さらなる課題 <p style="text-align: right;">〔質疑応答〕</p>

● KKJ の支援業務のご案内 ●

- FD・SD及びB(ボード)D研修へのお手伝い
- 企画協力～講師依頼～配布資料作成～報告書作成
- 講師・インストラクターの紹介と派遣